7/5 社会を明るくする運動

大垣保護区保護司会による“社会を明るくする運動”内閣総理大臣・岐阜県知事メッセージ伝達式が役場で行われました。

社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全・安心な地域を築こうとする全国的な運動で、今年で69回目を迎えます。

メッセージの伝達を受けた堀町長は「子どもも大人もより心豊かに暮らせる町づくりを進めていきます」と決意を述べました。

▲大垣保護区保護司会の皆さんと堀町長

7/7 青少年育成町民会議総会

ハートピア安八で総会が開かれ、各種大会成績優秀者と青少年指導者の表彰、少年の主張作文発表が行われました。

作文発表では、登龍中学校2年服部綾音さんが「豊かな愚かさ」と題して、自分たちが恵まれていること、貧困について深く考えなくてはいけないことを力強く訴えました。

また、東安中学校3年金野咲楽さんは「当たり前に続く日々の大切さ」と題して、食物依存性運動誘発アナフィラキシーにより倒れた経験から、簡単に死という言葉を口にしないでほしい、自分の命を精一杯輝かす生き方をしていくと宣言しました。

▲服部綾音さん

▲金野咲楽さん

7/8 心のこもった雑巾を

安八町老人クラブ連合会女性部会（堀明美部会長）から、町内のこども園・小学校・中学校へ手作りの雑巾700枚が寄贈されました。この雑巾の寄贈は、「地域社会に感謝の気持ちを」という思いをを込めて毎年行われています。

雑巾の寄贈を受けた町の小中学校校長会長の金森透校長（登龍中学校）は、「いつもありがとうございます。いただいた雑巾で生徒たちは一生懸命掃除をしています。その姿を目にするたびに、雑巾で汚れをとった分だけ、心が綺麗になりましたねと伝えています」と感謝と学校での様子を伝えました。

▲心のこもった手作り雑巾をどうぞ

7/11 人権擁護委員委嘱状伝達式

役場公室で人権擁護委員委嘱状伝達式が行われました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

7月より渡部美智子さんが就任、田宮孝司さん、赤木保男さん、西松久夫さんの3人が再任され、法務大臣からの委嘱状を受け取られました。人権に対するお悩みなどは、人権擁護委員会事務局（福祉課内） ☎64-7104へお問い合わせください。

▲渡部美智子さん 田宮孝司さん 赤木保男さん 西松久夫さん